

# さいたま市議会議員 阪本かつみ

# 定例議会レポート

## 2012.6 月定例会

～市民に開かれた議会を目指して！～



### 阪本 かつみ

《役職》

まちづくり常任委員会 委員長

地下鉄7号線延伸事業化特別委員会 副委員長

予算委員会 理事

## さいたま市議会6月定例会が終了

6月29日、一般会計補正予算案(24億247万円)など市長提出議案18件、空き家管理の条例など議員提出議案2件、委員会提出議案5件の計25議案を可決し、6月定例会が閉会しました。

### 副市長は2名体制で

4月より空席となっていた副市長に、市の任期付職員で元鳩ヶ谷市長 木下達則氏(64)の就任が承認されました。清水市制の1期目最終年度における、要の人事と言えます。

### 市役所のあり方を検討

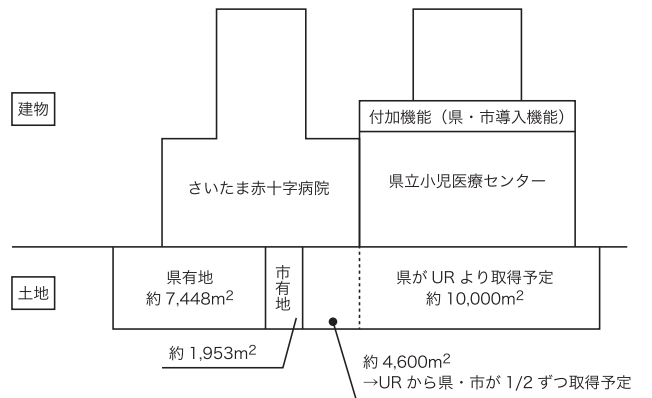
本庁舎の整備に関して必要な事項を調査審議する機関「さいたま本庁舎整備審議会」を設置するための条例が制定されました。これは、移転の検討を始めるということではありません。これからのさいたま市において、市役所の機能や規模、位置はどうあるべきかの検討を始めるということです。



### さいたま新都心に医療拠点

さいたま新都心8-1A街区の土地利用については、「にぎわい創出」から「安全・安心」を新たなコンセプトとして、さいたま赤十字病院と県立小児医療センターの整備を進めることとしています。本市では、当街区内に「保育機能」と「子育て支援機能」を導入します。

### 事業スキーム(概念図)



### 議員提出で空き家適正管理条例を制定

住居者が居ない空き家が安心安全なまちづくりに大きな問題となっていることから、管理が不十分な空き家の所有者に適切な措置を取るよう勧告や命令を行い、従わない場合は所有者の氏名と住所を公表する規定も盛り込んだ条例を制定しました。(平成25年1月1日施行)



阪本かつみオフィシャルブログのQRコードです。  
お手持ちの携帯電話等でQRコードを読み取ってご覧ください。

阪本かつみ オフィシャルウェブサイト

<http://sakamoto-katsumi.net/>

## 災害がれきの現状を視察

市は国からの要請を受け、岩手県野田村周辺の災害廃棄物（柱材・角材などチップ状に破砕されたもの）の受入を検討しています。

そこで、私たち民主党さいたま市議団は、岩手県における災害廃棄物の現状や処理状況について調査するため、岩手県庁や野田村への視察を行いました。

災害廃棄物仮置き場（7か所）での空間放射線量は、いずれも毎時 0.04 ～ 0.06 マイクロシーベルトで、本市よりも低い値でした。



### 震災がれき受け入りに ついての考え方は？

災害廃棄物の処理が復興に向けての大きな問題となっており、被災地での処理だけでは十分とは言えず、被災地支援の一環として受け入れの検討をおこなっています。

### 受け入れの判断条件は？

「受け入れる廃棄物を確認する基準」、  
「焼却する際の基準」、  
「埋め立てを行う際の基準」  
の3項目について受け入れ基準を策定し、市民の皆様方のご理解をいただきながら、まずは試験焼却を行い安全性について確認してまいります。



### 本市に事業実態のない 事業者への指導は？

本市では、市内経済の活性化や雇用促進のため、市内業者を優先とした発注に努めています。新たに本店を登録した業者について調査を行い、不適切と判断した場合には、指導しています。

### 不適切と判断する基準は？

所在の確認、営業所ごとに専任を義務づけている技術者の有無、店舗ごとの標識（看板）の設置、あるいは帳簿等も確認事項となります。

## まちづくり委員会から

### 建築物に高さ制限を定めます（高度地区の指定）

マンション建設がもたらす周辺への影響が問題となっており、建築物の高さに関して一定のルール作りが求められています。このような背景から、良好な住環境や景観を保全するため、住居系用途地域に建物の高さの最高限度（15m）を定める「高度地区」の指定を行うこととなります。（平成 25 年 8 月施行予定）

### 都市計画道路の見直しを行います

さいたま市の都市計画道路は 164 路線、総延長 392km で、そのうちの約半分が未整備のままです。長期にわたる建設行為の制限などの問題に対応するためにも、社会情勢の変化に対応した見直しが必要です。今回の道路計画案で示された廃止候補路線は 25 路線です。（桜区内では大谷場高木線の一路線）